

- 1 主 題 わたしのあさがお(出典: 明るい心) 【3—(3) 自然愛・動植物愛護】
- 2 本時の目標
 - ・ 優しい心で動植物に接し、生きているものを大切にしようとする気持ちを高めることができる。
- 3 人権教育上の観点
 - ・ 自分の考えを聞き手に伝わるように表現する力や、他人の考えをうなずきながら聞く力を育てたい。(視点②)
- 4 準備・資料
 - ・ 教師 写真、実物(種、あさがお)、ワークシート、地域の方からの写真
 - ・ 児童 あさがおもしろしマシーン
- 5 指導過程

段階 時間	学習活動	・留意点 [支]支援 [人]人権教育的配慮 [評価]
つかむ 5分	1 生活科でのあさがお栽培について発表する。	・ あさがおの様子、世話の仕方、自分の気持ちなど様々な視点からあさがおについて発表させる。 ・ 生活科での種まきから今の生長までのあさがおや子どもたちの世話の様子を写真で提示する。
あさがおをそだてるときのきもちを かんがえよう		
考える 15分	2 「わたしのあさがお」の範読を聞く。 3 内容をつかむ。 4 しおれて元気のないあさがおを見て、急にどきどきしてきた「わたし」は、どんなことを思ったのか考え、発表する。	・ 範読を聞く時の姿勢に気をつけさせる。 ・ 場面の把握ができるように要点をおさえ、内容を板書する。 ・ 「急にどきどきしてきた」や女の子の表情から、その時の女の子の気持ちを考えさせる。 [支]題材にある絵に注目させて、他のあさがおは元気なのに、女の子のあさがおだけ元気がない様子に気づかせる。 ・ 学級全体で発表させ、板書する。
深める 20分	5 枯れたあさがおの気持ちを考える。 <認識の高まり場面> 思考法: 立場を変える。 6 あさがおもしろしマシーンを使い、あさがおになりきってあさがおの気持ちを発表する。 発表法: ロールプレイ	・ 教師の「枯れたあさがおさん、どんな気持ち？」という問いに、口頭で答えさせてから、ワークシートに取り組ませる。 ・ ワークシートを用い、あさがおの吹き出しを埋めることで、あさがおの気持ちを考えさせる。 ・ 机間指導をして、児童の考えを把握する。 ・ 教師が「あさがおさん、どんな気持ちですか。」と質問をする。 [人]聞き手に伝わるようにあさがおの気持ちを発表したり、他人の意見をうなずきながら聞いたりする。② あさがおにも生命があることに気づき、生きているものを大切にしようとする気持ちをもつことができる。(発表・ワークシート)
ふり返る 5分	7 これからの世話の仕方を考える。	・ あさがおの気持ちになったことから、これからどんな世話をしたいのかを考えさせる。
	8 本時の学習を振り返り、まとめをする。	・ これからのあさがおへの接し方を確認し、本時のふり返りをさせる。 ・ 去年の ESD の活動で、地域の人が喜んでいた様子を伝え、今後のあさがおの栽培の意欲につなげさせる。

- 6 事後の指導
 - ・ 生活科で育てたあさがおを、お世話になっている地域の方々に見てもらえるように、地域の様々な場所に飾り、地域との交流を図る。
- 7 反省
- 8 高 評